

「青森県の自治体の道路インフラの維持管理に資する講習会」 10月2日につがる市で自治体職員等を対象に主催

北陸地方以外では初企画となる現地セミナーおよび体験講習会を、10月2日(金) 10～16時に、津軽地方らしい強風下の青森県つがる市で開催しました。参加者からは、直ぐに導入したいとのモチベーションで、実践的な質疑応答が活発になされました。

【後援】
青い森の橋ネットワーク
株式会社キタコン

プログラム

★：セミナーに加えて体験講習会も開催

- ・開会挨拶と北陸SiP趣旨説明
- ・短支間RC橋を対象とした簡易補修と延命化措置
- ・橋梁の供用可/不可評価 ★
- ・鋼橋の簡易延命化 ★
- ・フォトノギスによる省力で継続的な変位管理 ★
- ・小規模橋梁を対象としたアセットマネジメントの現実的实践
- ・維持管理に役立つ人材育成ポータルサイト
- ・交通ビッグデータを活用した橋梁の維持管理
- ・閉会挨拶

宮里 心一 (金沢工業大学)
花岡 大伸 (金沢工業大学)
鈴木 啓悟 (福井大学)
木下 幸治 (福岡大学)
菅沼 久忠 (T T E S)
平野 綾子 (アイ・エス・エス)
中津井 邦喜 (日本工営)
寺山 一輝 (石川工業高等専門学校)
秋田谷 有正 (つがる市)

青森県内の参加人数

9つの市町	25人
青森県	16人
国土交通省	2人
コンサルタント	7人
大学	2人

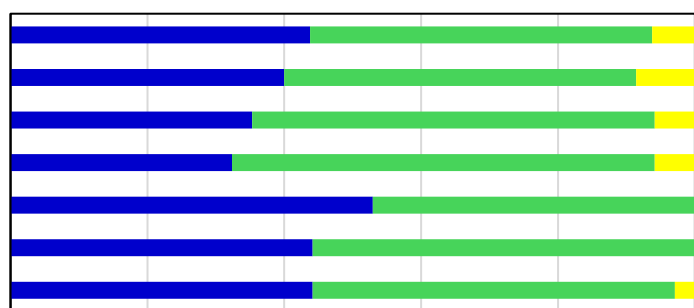


参加者からのアンケート

セミナー

交通ビッグデータを活用した橋梁の維持管理
ポータルサイト
小規模橋梁を対象としたアセットマネジメントの現実的实践
フォトノギスによる省力で継続的な変位管理
鋼橋の簡易延命化
橋梁の供用化/不可評価
短支間RC橋を対象とした簡易補修と延命化措置

■是非とも使ってみたい ■試しに使ってみたい ■不要



体験講習会

フォトノギスによる省力で継続的な変位管理
鋼橋の簡易延命化
橋梁の供用可/不可評価

■よくわかった ■概ねわかった ■わからなかった



参加者からの感想

- ・橋梁維持の新しい技術を学べて有意義な研修でした。
- ・新技術等の体験の場は貴重なので、また開催してほしい。
- ・機会があれば、ぜひ使ってみたい技術があった。
- ・人口減少等に伴う、簡易的な補修や点検方法について学べた。
- ・そもそも廃道などにより管理する橋梁を減らしていくべきだと感じた。技術は進んでいるので、役所側も集約撤去に向けて、啓発・理解醸成を進めなくてはいいけないと切に感じた。